



2025年10月10日

2025年度 豊橋技術科学大学 一般公開講座
「自然災害からまちと命を守る科学」を開催します。

<概要>

豊橋技術科学大学の教育、研究を広く社会に開放し、社会人の教養を高め、文化の向上に資することを目的として、一般の市民を主たる対象とした一般公開講座を開催します。

高校生以上の地域の方に、科学、技術、ものづくりの面白さを知っていただくため、最先端の研究、研究成果の紹介及び、地域の課題解決策などについて講義します。

<今年のテーマ「自然災害からまちと命を守る科学」>

気候変動や地震など、自然の力は私たちの暮らしに関わっています。その変化の兆しに気づき、自然災害からまちと命を守る知恵を育てることが、これからの社会に必要です。

本講座では、「気候変動と水害」と「地震」の2つの視点から、最新の科学的知見をもとに、未来への備えについて考えます。

1. 日 時：11月15日(土)、11月22日(土)
各日 午前10時～11時30分※いずれのご参加も可能です
2. 対 象：<第1回>高校生以上、<第2回>小学校高学年以上
3. 定 員：対面 100名(会場：豊橋技術科学大学 A-101 講義室)
オンライン 100名 (Zoom ウェビナー) ※申込順・要事前予約
4. 参加費：無料
5. 詳 細：<https://www.tut.ac.jp/develop/cooperation/ecourse.html#anc01>
6. 申 込：<https://www.tut.ac.jp/form/gijyutu/koukaikouza2025.html>
申込期限：開催前日の正午



<講座内容>

第1回 11月15日(土)「風が語る、雨が教える — 気候変動と水害の現在(いま)」

講師：建築・都市システム学系 准教授 豊田 将也

毎年、全国各地で大雨や台風に伴う水害が発生しています。気候変動により気温が2℃、4℃上昇した将来気候では、このような大雨の激甚化、スーパー台風の襲来が懸念されています。この講座では、「そもそも温室効果ガスとは？」といった気候変動の基礎知識から、水害研究の最前線、そして2年前に東三河地域で発生した直近の水害についてもわかりやすく解説します。

第2回 11月22日(土)「地震に強い建物を考えよう」

講師：建築・都市システム学系 教授 齊藤 大樹

豊橋技術科学大学では、地震が来ても人の命を守れる建物の設計について研究しています。強い地震では建物が壊れたり、家具が倒れて怪我をすることがあります。とても頑丈な建物にすれば安心ですが、使いにくくなったり、お金が多くかかったりすることもあります。そこで、揺れを少なくする「免震構造」などの工夫を使って、地震に備える方法を考えています。講義では他の工夫も一緒に考えます。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 高柳・野本
TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6568
講座担当：総務課地域連携係
TEL：0532-44-6569